

# 徳島県の地震

平成30(2018)年12月

## 目次

### 徳島県の地震活動

震央分布図・断面図	…	1
概況	…	1
徳島県で震度1以上の揺れを観測した地震の表	…	2
震度分布図	…	3

### 地震メモ

震度計と震度観測体制について	…	4
----------------	---	---

\* 「徳島県の地震」は月1回発行し、徳島県及びその周辺の地震活動状況をお知らせするとともに、適宜、社会的に関心の高い地震について解説を行っています。また、「地震メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。

\* 本資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

\* 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

\* この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

\* 全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。  
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/bunyaq.html>

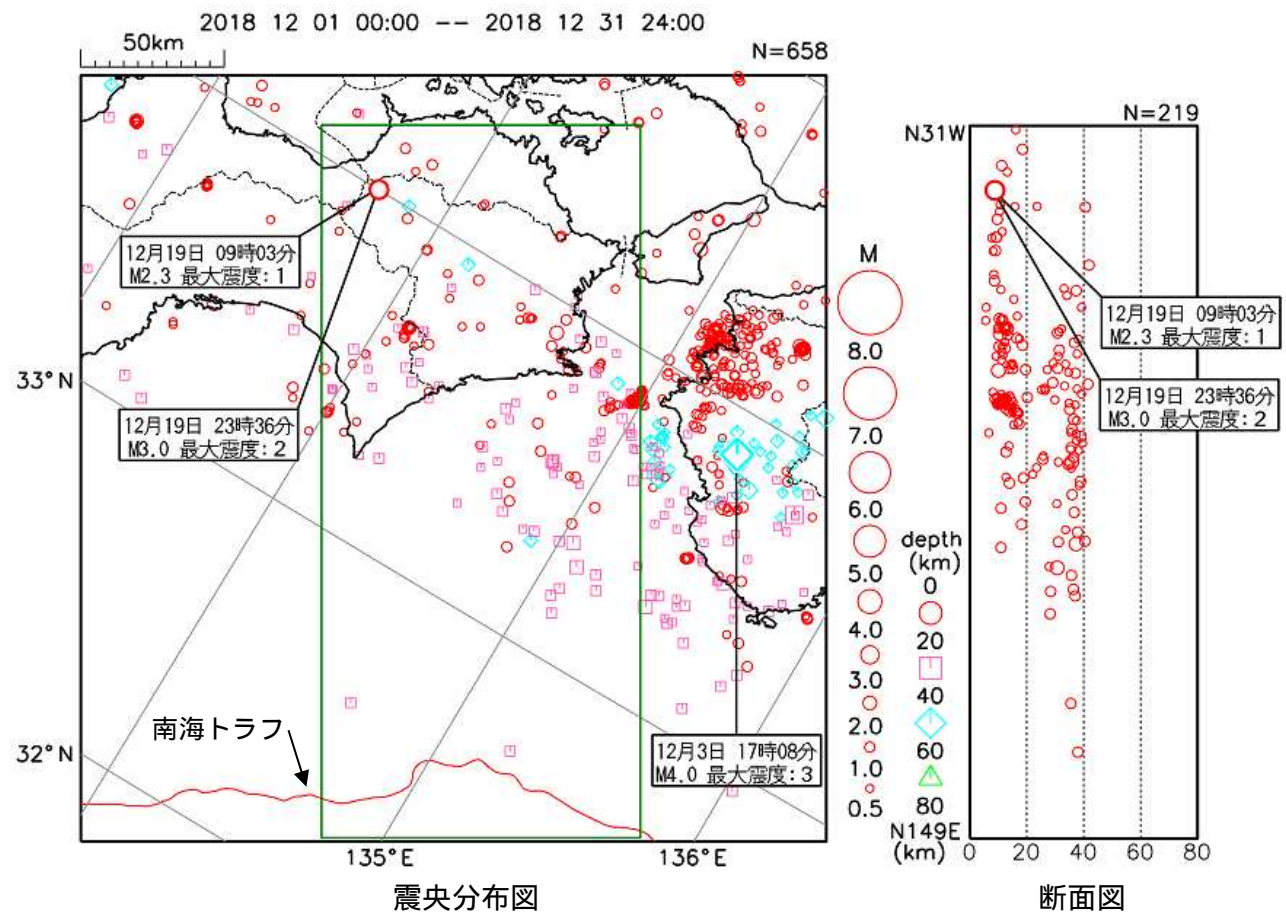
\* 大阪管区気象台管内（近畿、中国、四国地方）の地震活動は、大阪管区気象台ホームページに掲載の「管内地震活動図」、「週間地震概況」をご覧ください。  
<http://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

## 徳島地方気象台

(<http://www.jma-net.go.jp/tokushima/>)

# 徳島県の地震活動

## 震央分布図・断面図 2018年12月1日～2018年12月31日



- ・ M0.5 以上の地震を表示。
- ・ 震央分布図中の緑色の長方形内の地震を北東側から見た断面図を右に表示。
- ・ 図に表示する震源は、凡例のとおりシンボルの大きさをマグニチュード (M) の大きさを、シンボルの形状と色で震源の深さを (震央分布図のみ) を区分。
- ・ 図中のコメントは、徳島県で震度1以上を観測した地震の発生日時・マグニチュード (M)、最大震度 (徳島県内の最大震度とは限りません)。

## 概況

2018年12月に徳島県で震度1以上を観測した地震は3回でした(前月は7回)。震央分布図の範囲内でM2.0以上の地震は32回(前月は44回)、断面図の範囲内でM2.0以上の地震は8回(前月は10回)でした。

3日17時08分 和歌山県北部の地震(M4.0、深さ48km)により、徳島市、石井町、那賀町で震度2を観測したほか、県内13市町で震度1を観測しました。また、和歌山県で震度3を観測したほか、東海、近畿、中国、四国地方で震度2~1を観測しました。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生しました。

19日09時03分 徳島県北部の地震(M2.3、深さ9km)により三好市で震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

19日23時36分 徳島県北部の地震(M3.0、深さ9km)により三好市で震度2、東みよし町で震度1を観測しました。この地震は、地殻内で発生しました。

徳島県で震度 1 以上の揺れを観測した地震の表

2018 年 12 月 1 日 ~ 2018 年 12 月 31 日

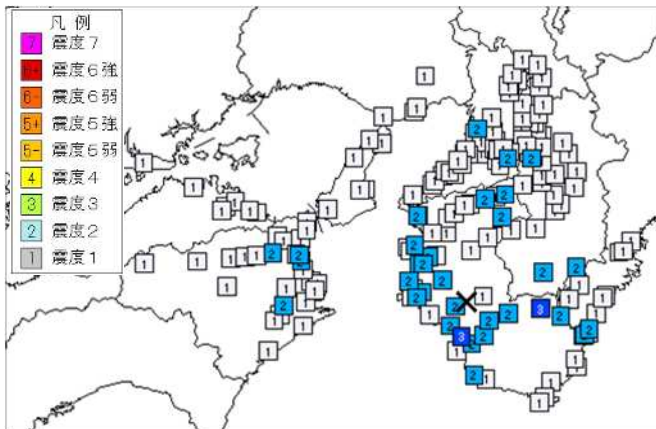
発震日 (年月日時分) 各地の震度 (徳島県内のみ掲載)	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2018 年 12 月 03 日 17 時 08 分	和歌山県北部	33° 51.9' N	135° 24.4' E	48km	M4.0
震度 2 : 徳島市大和町, 徳島市津田町*, 石井町高川原*, 那賀町和食*					
震度 1 : 徳島市新蔵町*, 鳴門市撫養町, 鳴門市鳴門町*, 小松島市横須町*, 松茂町広島*, 藍住町奥野*, 板野町大寺*, 吉野川市鴨島町, 吉野川市川島町*, 吉野川市山川町*, 美馬市木屋平*, つるぎ町貞光*, 徳島三好市池田総合体育館, 阿南市富岡町, 阿南市山口町*, 阿南市那賀川町*, 阿南市羽ノ浦町*, 勝浦町久国*, 牟岐町中村*, 那賀町横石, 那賀町延野*, 美波町西の地*					
2018 年 12 月 19 日 09 時 03 分	徳島県北部	34° 00.0' N	133° 44.1' E	9km	M2.3
震度 1 : 徳島三好市池田総合体育館					
2018 年 12 月 19 日 23 時 36 分	徳島県北部	34° 00.0' N	133° 44.2' E	9km	M3.0
震度 2 : 徳島三好市池田総合体育館					
震度 1 : 徳島三好市池田中学校*, 東みよし町昼間*					

- ・ 震源要素 (緯度・経度・深さ・マグニチュード) は暫定値。
- ・ 地点名の後に\*がついている地点は、気象庁以外の観測点。

### 震度分布図（×印は震央）

12月3日 17時08分

和歌山県北部の地震（M4.0、深さ48km）



観測点別震度分布図

12月19日 09時03分

徳島県北部の地震（M2.3、深さ9km）



観測点別震度分布図

12月19日 23時36分

徳島県北部の地震（M3.0、深さ9km）



観測点別震度分布図

## 【地震メモ】震度計と震度観測体制について

### (1) 震度の観測

気象庁では、明治17(1884)年以来、130年以上震度観測を実施しています。観測開始以来、震度観測は体感で行ってききましたが、観測を客観的に行い、その成果を迅速に発表するため、気象庁は、平成3(1991)年、世界に先駆けて震度計を開発しました。

平成8(1996)年4月からは、震度観測は全面的に震度計で行うこととし、体感による観測は廃止しました。同年10月からは、現在の10階級の震度階級(震度5及び震度6をそれぞれ弱・強の2階級に分割)による震度を発表しています。



### (2) 震度計の導入のメリットについて

震度計の導入により、

客観的な観測が可能

無人でも観測可能なため、震度計を設置することにより観測点の多点化が可能

震度データ収集が自動化されることにより、震度情報の迅速な発表が可能

となりました。

### (3) 震度観測体制について

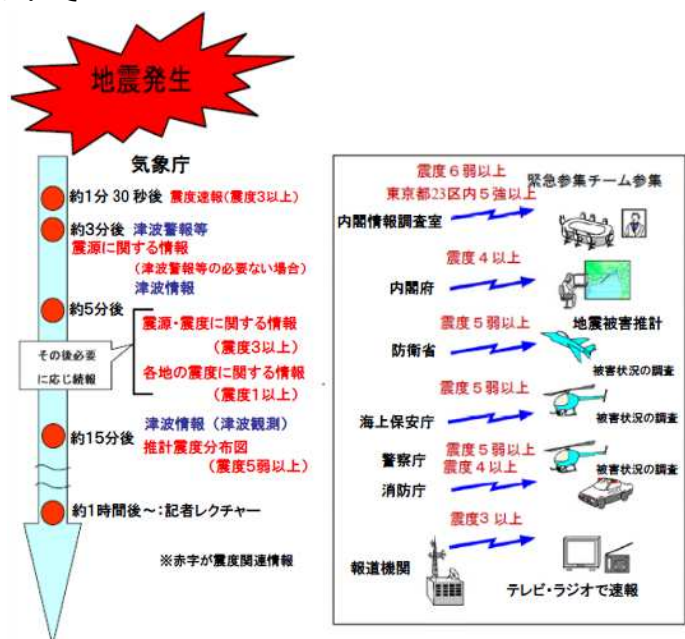
平成30年12月現在、気象庁が発表する震度情報に活用している観測点は、約4370地点となっています。これらの震度計は、気象庁の他、都道府県等地方公共団体、国立研究開発法人防災科学技術研究所により整備・運営されています。観測結果は、各管区气象台等、都道府県庁または国立研究開発法人防災科学技術研究所等に電話回線や防災行政無線等を使用し集約・処理され、地震発生から数分後には、気象庁へ提供されます。

なお、気象庁は、震度計の設置環境を事前に調査し、その評価を踏まえ震度情報に活用しています。

### (4) 震度観測結果の利用と震度情報発表について

地震発生直後の震度観測結果は、気象庁から発表する震度情報に含められ、その情報は、発災後の初動対応の判断材料等として多くの防災機関に利用されており、地震防災上欠かすことのできない重要なものとなっています。

地震発生からの時間経過とともに、気象庁から発表する震度情報等の種類と震度の大きさに応じて講じる防災対応の例を右図に示します。



震度計と震度観測体制の詳細は、気象庁ホームページをご覧ください。URLは以下のとおりです。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/shindo-kansoku/index1.html>